

帯広市森林整備計画のゾーンングについて

地域森林計画の考え				帯広市			
重視する機能など	森林の区域	森林の区域に応じた目的	望ましい姿	基本方針	主な森林種類	具体的な箇所など	主な施策の方法など
・水源涵養機能	水源涵養林	○良質な水資源の安定供給の確保	○浸透水能力の高い土壌を有している森林	○伐採に伴う裸地面積の縮小及び分散を図る施策を推進し、良質な水の安定供給を図る	普通林 土砂流出防備 保安林など	○川西・大正の平地及び拓成町のうち ・水源涵養機能が高い森林 ・木材生産機能も高い森林	皆伐:20ha以下 ・伐期の延長 (標準伐期+10年)
・山地災害防止機能 ・土壌保全機能	山地災害防止林	○土砂の流出・崩壊の防備など災害に強い国土基盤の形成	○下層植生や樹根が深く広く発達し、土壌を保持する能力に優れた森林	○裸地面積の縮小や裸地化の回避を図るとともに、地形・地質等の条件に応じた施策を実施し、災害に強い地環境を形成する	普通林 土砂流出防備 保安林	○岩内町の山岳地 公有林を対象とした (一般民有林は水源涵養林とする。)	皆伐:20ha以下 ・長伐期施策 (標準伐期×2倍)
・快適環境形成機能	生活環境保全林	○生物多様性の保全 ○森林とのふれあいを通じた憩いと学びの場	○生物多様性・住民等の憩いと学びの場、歴史的風致等を構成している森林	○景観の維持・形成、生物多様性の保全等を図る多様な施策を行う	保健保安林 土砂崩壊防備 保安林など	○稲田町・岩内仙境の一部 ・北海道自然環境等保全条例に基づき(保護地区 ・北海道文化財保護条例に基づき(天然記念物 ・帯広市自然環境保全条例に基づき(自然環境保全地区 ・保健保安林(公有林を対象・現行民有林該当なし)	択伐復原林施策 (伐採率30%以下) (伐採後人工造林:40%以下)
・文化機能 ・保健・レクリエーション機能	生物多様性ゾーン	○河川や湖沼周辺の生物多様性の保全	○河川・湖沼周辺において、野生生物の生育・生育に適し、水質浄化に寄与している森林	○希少な野生生物の生育・生育地確保を図るため、原生的な森林の保全に配慮した施策を行う	該当なし	○川西地区・大正地区 樹木の生育に適しており、林道等の開設状況等から効果的な森林施策が可能森林	皆伐:20ha以下 ・標準伐期齢以上 人工林については、原則「植栽」によるなければ適確な更新が困難な森林に指定
・木材等生産機能	木材等生産林	○木材等の持続的・安定的・効果的な供給	○生育に適した土壌等を有し、成長量が大きく、林道等の基礎施設が整備された森林	○木材等の持続的・安定的・効果的な供給を目指すため、適切な造林・保育・間伐や適業の集団化・機械化による効果的な整備を推進する	普通林	○川西地区・大正地区 樹木の生育に適しており、林道等の開設状況等から効果的な森林施策が可能森林	皆伐:20ha以下 ・標準伐期齢以上 人工林については、原則「植栽」によるなければ適確な更新が困難な森林に指定

※市町村森林整備計画は、地域森林計画に適合したものでなければならぬ(森林法第10条の5第4項)